



保健だより



2022.12.1 南青山病後児保育室

急性胃腸炎（感染性胃腸炎）

こどもの急性胃腸炎は 嘔吐と下痢が主な症状で アデノウイルス
ノロウイルス ロタウイルス等が主な原因ウイルスです
(2011.11 よりロタウイルスには予防ワクチンがあります)
おなかの風邪と呼ばれることもあります

どうして嘔吐や下痢をするの？

急性胃腸炎に罹った時はウイルスの作用で胃腸の働きが悪くなるため 健康な時よりも消化吸収能力が低下します
消化吸収能力を超えた量の食べ物や飲み物が入る事により嘔吐や下痢につながります

注意！

腸重積・虫垂炎・睾丸捻転・上部尿路感染症・細菌性髄膜炎等の急性胃腸炎以外の疾患でも病気の特徴的な症状が現れず嘔吐を初発症状とする事があります

嘔吐や不機嫌が続く 飲んだり食べたりしなくても嘔吐が続く時には躊躇せずに受診しましょう！

少量頻回の水分摂取を！

左記のように 消化吸収能力が低下しているので嘔吐した直後は胃腸を休ませましょう
まだ吐き気がある時に水分を摂ると水分が刺激になって嘔吐を繰り返し胃液も失われてしまいます
吐き気が治まってきた後もゴクゴクと飲むのは避け まずはスプーンで一杯ずつ口へ注ぐ等少量を 5~10 分の間隔を開けて再開します
(OS-1 やアクアライトなどの経口補水液やイオン飲料など)

嘔吐が落ち着いたら…

水分を摂っても嘔吐しなくなったら お粥やうどんなどを少しずつ食べさせてあげましょう

